

令和7年度新年互例会に参加して

安佐北区三田女性会 己斐富子

令和8年1月23日 リーガロイヤルホテル広島で、市女連新年互例会が開催されました。区毎に設けられたテーブルでは、区長との会食・懇談を通して、いろいろと話し合うチャンスをいただきました。

アトラクションでは、区毎に区長と一緒にステージに立ち、無礼講で余興を楽しみました。観客は、ステージ上の動きに手拍子をしたり、涙して笑い転げたり、みんな一体となって楽しみました。これらの行動を通して、知らなかった方との絆も広がり、市女連の今後のますますの発展に繋がると感じた一日でした。



安佐北区可部南女性会副会長 有末妙子

令和8年1月23日リーガロイヤルホテル広島にて市女連新年互例会が開催されました。寒い中での新年会でしたが、区単位の出し物がそれぞれ工夫され、区長さん達も芸達者で多いに楽しみました。私は3~4年ぶりに参加させて頂きましたが会場に入って参加者が以前より少ないと感じました。女性会に限らず今では自治会、PTAなどが無くなりつつあります。

最近女性の社会進出が素晴らしく、日本初の女性大臣「高市早苗さん」が誕生しました。また、広島県知事も「横田美香さん」が選ばれ嬉しい限りです。女性会の会員を増やすのも入会者が少ないのも、これからの課題であり、魅力ある会にするには皆で一緒に考える事が必要だと感じました。そして美味しいお料理を堪能し帰路につきました。役員の皆様方ありがとうございました。

文化教室発表会に参加して

いけばな小原流教室講師 廣瀬芳泉

生徒5人という少人数ながら、1年間の成果を多くの方に見ていただいたことを大変嬉しく思います。牛乳パックで作った花器は、お年寄りにも好評で、子ども達も初めての体験を楽しみ、大人の方の参加も多くて驚きました。

今回の発表会を通じ、生け花だけでなくバザー準備もしたことで、絆ができました。いけばなの敷居を下げ、生活に寄り添い、年齢を問わず、生け花や手作りを楽しんでいただける会としてこれからも続けて行きたいと思います。

最後に、開催にあたりお世話になりました地域女性団体連絡協議会の皆様に、厚く御礼申し上げます。



編集後記

安佐南区女性会

広島被爆80年という節目に、「きょうちくとう」の担当をさせていただき、日々の平和に感謝の気持ちを忘れてはいけないという思いで編集いたしました。

ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

きょうちくとう

[編集・発行] 広島市地域女性団体連絡協議会 〒732-0822 広島市南区松原町5-1

[発行責任者] 会長 山田 豊子

[編集担当] 安佐南区女性会

BIG FRONT ひろしま5階
広島市総合福祉センター内
TEL 082-568-0207 FAX 082-568-0231
ホームページ: <http://cyberbb.com/hid/>



会長あいさつ

広島市地域女性団体連絡協議会
会長 山田豊子

令和7年は、広島被爆80周年という節目の年で、一年中さまざまな所で、さまざまな人々が、さまざまな行事を行い、平和について考えたことと思います。

広島平和記念資料館の入場者数が年々増加し、年間200万人を超えているようです。見学された皆様が何を感じ、何を思うことでしょうか。それぞれ平和につながればいいなと思います。

市女連の会員は、赤十字奉仕団員ということもあり、令和7年6月に、関西万博「国際赤十字・赤新月運動館」を見学に行きました。パビリオンを見学した事で、「人間を救うのは人間だ」のスローガンが改めて身にしみました。

私たち女性会も、地域での活動一つ一つをやり遂げ、広島市が立ち上げている「ひろしまLMO」や、地域での活動に浄政界の必要性を確立し、皆様がいきいきと活動されていくことを願っています。

これからも皆様の力を借りて女性会の益々の発展のために努めたいと思います。



被爆80周年広島平和記念式典に 思いを寄せて

中区白島女性会 木下百合子

被爆80周年原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式典と市女連主催の嵐の中の母子像供養に、自身が80才の年にお声を掛けていただき思いも一層深いものがありました。嵐の中の母子像前での供養後、被爆者を命がけで救われたジュノー博士の碑と被爆の火を灯し続ける春日型石燈籠に参拝しました。広島は原爆投下がどれだけ悲惨な結果を生むかを体験し80年経ちましたが、世界各地の争いは終わらず、むしろ酷くなっていく現状です。しかし、この日の平和公園で全国から集まった老若男女、世界各国からの参加者からあふれ出た熱気は暑さによるものとは違う、かつてない核廃絶への願いが集結した光景だったと思います。

ここまで世界に核の怖さ廃絶の必要を説き続けられた被爆者の皆さまの努力に心から感謝します。母子像の前で涙を流しながら歌った平和を切望する思いが込められた歌「三たび許すまじ原爆をわれらの街に、海に、空にそして世界に」子どもたちにこんな悲惨な体験をさせる事のないよう平和な社会実現のためにご一緒に、また一歩踏み出せますようにと思いを新たにしました。



市女連大会 サヘル・ローズ氏の

「出会いこそ生きる力」の講演を聞いて

安佐南区戸山女性会 新本量子

「サヘル・ローズ氏」ご存知の方も多いと思います。戦争孤児として壮絶な体験を話されました。養女として受け入れてくれた養母、そして養母の覚悟、また義父からの虐待、その為に養母と共に家を出て路頭にさまよう中、手を差し伸べてくれた日本人家族、この人達との出会いに本当に感謝し生きる力を頂かれたそうです。この体験のもと今では各地で講演や支援活動をされています。今も他国では戦争は続き私もメディアからの悲惨な情報は得ていますが実体験は本当にリアルに伝わり文化の違いや差別、多様性を理解し合い人と人との繋がりが大切だと改めて感じました。また、最後に「生きている事は奇跡」という言葉を大切に!!と話されました。私は日々の生活は当たり前のことと過ごしていますが、この言葉を忘れない様に行きたいと思います。



「なでしこの会」平和公園を歩く

可部南女性会会長 小泉小夜子

毎年女性会では次世代を担うリーダー育成を目的として研修会を開催しています。

今なお世界では様々な場所で理不尽な戦争が勃発しています。昨年度広島市においては、被爆80周年の節目を迎え、またノーベル平和賞を受賞され平和への機運が高まっています。

私たち女性会もこの地を訪れる人達に少しでも平和についてのお話が出来ると広島市観光ボランティアガイドの方々に案内をお願い致しました。1月とは思えない晴天でガイド日和でした。48名の参加者を迎え3組に分かれて丁寧な説明を聞くことが出来ました。

公園内の碑をめぐる平和についての諸問題を自分の事として捉え、先人の女性会の皆様が一生懸命寄付を集めてこの地に建立した「嵐の中の母子像」の前で感謝の一礼をして写真に納まりました。とても有意義な時間でした。



次世代リーダー研修 なでしこの会

佐伯区水内女性会 藤本正子

令和8年1月30日(金)被爆80年を迎え平和学習を目的にした平和記念公園内の散策に参加しました。「原爆ドーム」から始まり、「嵐の中の母子像」までをボランティアガイドの方の説明をグループに分かれて聞きました。公園内だけでも66ヶ所も慰霊碑・記念碑・像などが建立されていてその多さに驚きました。

「子どもと平和を守り抜こうとするすべての母親の誓い」の象徴として「嵐の中の母子像」を、現市女連の母体である旧広島市婦人会連合会が建立されていました。ボランティアガイドの方に丁寧にわかりやすい説明をしていただいたのであらためて原子爆弾の怖さを知り、平和が続く大切さを強く認識することができた研修会でした。

EXPO2025 大阪関西万博と

世界遺産姫路城・塩田温泉一泊二日の旅

中区中島女性会 大村和子

令和7年6月9日、広島駅新幹線口を7時30分に出発、中筋側道で参加者と同流して、一路大阪へ。車中で、昼食をとり、12時30分に湾岸舞洲ランプ、大阪・関西万博の西ゲートに到着。会場に入り、日本赤十字社パビリオンに、15時12分に予約してあるので、「それまで好きなパビリオンを見学してください」と言われ歩きだしたが、どこも長い行列で、どのくらい待てばいいのですかと尋ねると2時間くらいと言われる。それでもインド館とバングラデシュ館に入ることができ、その国の雰囲気堪能できた。くらげ館、静けさの森、と歩き、国際赤十字パビリオンに行く。まだ世界では戦争が絶えない、負傷された方の治療に携わっている人の様子を大きな画面を通して説明してください。とにかく広くて、大きい、雨の中歩くこと歩くこと大変だった。

宿泊は塩田温泉、夢乃井。夜になると歌ったり、踊ったり、手品があったりで楽しいひと時を過ごす。翌日10日、ホテルを9時に出発、世界遺産・姫路城に行く。朝から雨がふりつづける中、ガイドの人が説明して下さる。さすが世界遺産スケールが大きい、見ごたえがある。天守閣しか行けなかったが、まだまだ見どころはたくさんあった。灘菊酒造で昼食をし、広島駅新幹線口に17時過ぎに着く。

皆さん元気で帰られました。私は足が痛くならないか心配でしたが、皆さんが助けてくださり、どうにか無事に帰れました。感謝しかありません。

旅は人との出会い、花との出会い、建物との出会いです。また一期一会の世界で、同じ出会いは二度とおきません。この思い出を大切にしていきたいと思います。



みんなで楽しむ市女連を目指して



西区己斐女性会会長 木谷富喜子

令和6年度より、山木路子前会長よりバトンを受け継ぎました木

谷富喜子と申します。宜しくお願ひいたします。平均年齢を下げ、受け身的な活動しかしていなかった私が、西区唯一の女性会となった己斐女性会の会長に!!無謀な決断を後悔する間もなく、押し寄せてくる色々な会議に出席するだけで精一杯の1年でした。己斐学区LMO始動に伴い、ますます女性会会員の力が必要となって来ました。コロナ禍により社会の様子が変わり、生かされている残りの時間を思いっきり楽しもうと誓った矢先の大役ですが、微力ながら市女連の皆様と手をつなぎ、活動の場を一緒に楽しんでみたいと思います。

どうぞ会員の皆様よろしくお願ひいたします。

日赤血液センター見学

安佐南区伴地域女性会会長 池田美代子

2月2日に伴地域女性会代議員研修で日本赤十字社広島県支部を訪問させていただき、血液センターと備蓄倉庫の見学をしました。災害時の備蓄・災害現場への応援隊の物資など多くが保管されています。血液センターは献血後の血液のゆくえを実際の作業工程をガラス越しに見学しました。献血の輸血に関する知識や様々な赤十字活動について触れて体験させて頂きました。

